



新年の抱負



あけましておめでとうございます。

当会は現在、正会員 13 名、賛助会員 22 名、利用会員 24 名で運営しています。

少しずつ利用会員も増え、なるべく出費を減らすことで低料金でも収支が維持できています。

潤沢ではありませんが少しずつ運営資金も増えています。

とはいえ、設立から 3 年近く経過して利用会員 24 名は必ずしも満足できる状況ではありません。支援スタッフが当初の 3 名のままで増えてないのが一番の理由かと思いますが、コロナ禍の影響もあり支援活動全体が停滞し、前向きさを失っていた面もあったかもしれません。

しかし、2025 年には団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となり公私の支援ニーズは増える一方です。今一度、会の設立趣旨に立ち返り奮起することが必要かと思う次第です。

まずは、支援スタッフを増やすことから始めたいです。「趣旨には賛同しても活動は無理」と考える方々は沢山いますので、「できることから」と積極的に声をかけていけば道は開けると 생각합니다。仲間が増えればモチベーションも上がり、よりよい支援につながり、自ずと利用会員も増えるのではないのでしょうか。

もう一つは、トーチならではの強みを更に伸ばしたいです。

私たちは社会貢献の取り組みを存在意義（アイデンティティー）の一つとして重視しています。

特に、高齢者の人権学習会を通じて、地域住民、事業者や NPO の方々とつながれたことは大きな強みです。小規模ならではのフットワークの良さを生かして今後もこうした活動を通じて権利擁護ネットワークの構築や行政を巻き込んだ高齢者のためのセーフティネット作りをすすめたいです。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

理事長 西岡楠也

<第 3 回高齢者の人権学習会のご案内>

- 1 日時 2023 年 2 月 20 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
- 2 場所 ほっと平針 菜のはなホール（名古屋市天白区平針 1-1907）
- 3 内容 第一部（午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分）

「身寄りがない人の準備～遺言、死後事務委任を中心に～」

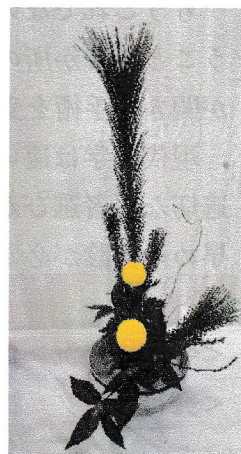
講師 弁護士法人名古屋南部法律事務所平針事務所

高森 裕司 弁護士

第二部（午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分）

「なんでも相談会」

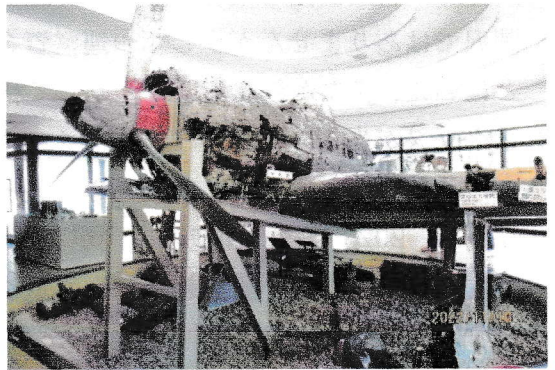
- 4 定員 30 名（事前申し込み制）



～旅行の記～

昨年11月、コロナ禍で心配はあったものの全国旅行支援を利用させてもらって、鹿児島県を観光しました。コースは、鹿児島空港でレンタカーを借り、知覧特攻平和会館、知覧武家屋敷を見学し1日目の宿泊は指宿温泉でした。将棋の「竜王戦」がもつれこめば会場となるホテルでした。後日、藤井聡太竜王が砂蒸し温泉を楽しんでいる様子がネットのニュースで流れていましたが、私もこれを体験してきました。2日目は、桜島観光と島津家ゆかりの仙巖園を見学しました。2日目の宿泊は霧島温泉です。硫黄温泉を十分堪能しました。3日目は丸尾滝、霧島神宮、丸池湧水を回り鹿児島空港から帰名しました。

今回の旅行のメインは知覧特攻平和会館です。「特攻作戦」については百田尚樹の「永遠の0」でも取り上げられていますが、学生時代の仲間から知覧は、ぜひ行っておくべきだとの勧めがあり、やっと念願かなったものです。知覧特攻平和会館には、特攻兵の家族に向けた手紙や遺品が数多く展示されています。ゼロ戦など特攻で使用された戦闘機も展示されています。特攻兵が最後に家族にあてた手紙を一つ一つ読んでいると、昼食の時間を忘れるほどボリュームたっぷりでした。残される両親への気遣い、既婚者である特攻兵の妻や子供さんへの思いは如何ばかりか。戦争は多くの尊い命を奪います。4分の3世紀以上前の日本は何と馬鹿なことをしていたのだろうか。ロシアによるウクライナへの無意味としか思えない戦争への憤りと重なります。知覧特攻平和会館は私に貴重な時間を作ってくれました。



(名古屋にも戦争と平和を学ぶ資料館「ピース愛知」があります。)

副理事長 市川公庸

～闘病の記～

子供の頃将来全盲になるという夢を見た。70歳になったある日何故か右目の視野に影が映るようになりそれが直ぐに広がって突然右目が見えなくなった。急いで眼科を受診すると網膜剥離で2個の穴が網膜に開いて視力が失われたとのこと。緊急入院となり軽い白内障もあったため眼内レンズも入れ3時間近くの手術は終了した。その後は10日近くもうつぶせ寝が続き息苦しい療養を強いられた。術後は視力も低下して0.7に落ちた

もうこれでないと思っていたが昨年8月今度は左目に同じ様な兆候があり受診。やはり剥離ということで2か所の穴を塞ぎ同時に眼内レンズを入れる手術受けたが、9月に又視野閉鎖2か所の穴が開き再手術を受けた。原因は不明。

現代医学は凄いもので昔であれば確実に全盲になっていただろう。いずれにしても素早い受診と適切な医者選びが大切で、高齢者になると何が起きても不思議ではない。少しでも異常を感じたら早めの受診が必要と思った。

事務局長 福岡晶

<会員の状況>正会員13名、賛助会員22名、利用会員24名(生活支援21名、身元保証3名)

<発行元> 特定非営利活動法人権利擁護トーチ

名古屋市天白区池場四丁目802番地の2 TEL/FAX 052-803-6581